

## 学生の視点で大学のリアルな姿を伝える Musashi Web Magazine「きじきじ」

—大学や江古田の新たな魅力を掘り起こす！—

武蔵大学(東京都練馬区/学長 山崎 哲哉)は、2013年より高校生や在学生を対象とした Musashi Web Magazine 「きじきじ」を公開しています。このサイトは、武蔵大生によって構成された編集部が企画・編集をし、大学生活やキャンパスのある江古田にまつわるさまざまな情報を、形式にとられない自由なスタイルで発信。学生ならではの視点や、ユニークな発想と行動力でコンテンツが作られているのが特徴です。

### Musashi Web Magazine「きじきじ」とは

Musashi Web Magazine 「きじきじ」の編集部員は現在、1~3年11名の構成。大学広報活動の一環という側面もあり、スキルアップのため教職員が定期的にワークショップを開催するなど活動をバックアップしています。

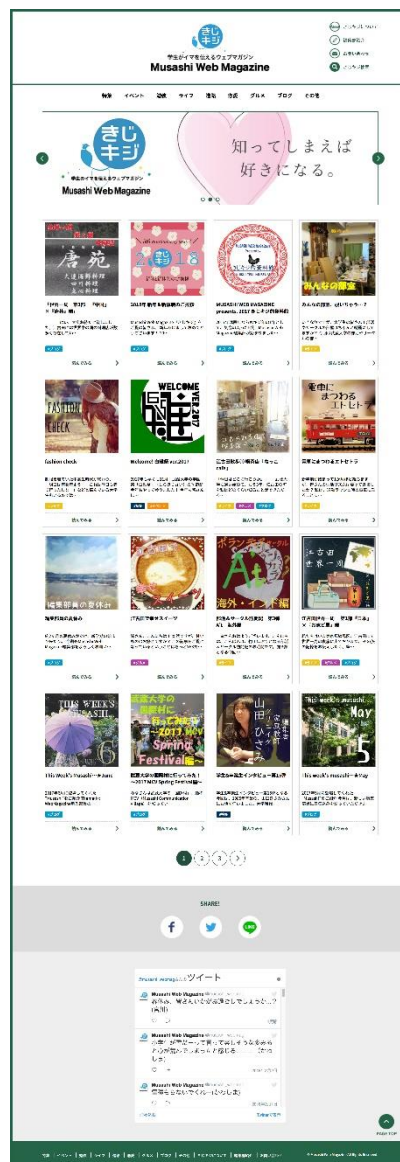
初代編集長がはじめて投稿した記事には「もっと武蔵大学を知ってほしい、在学生のリアルな声を届けたい」という思いが綴られています。「きじきじ」は情報発信の力をつけて成長するための実践の場となっており「大学案内では伝えきれないことを伝えたい」という思いを現メンバーも受け継いでいます。

「きじ」(雉)は、武蔵大学のロゴのモチーフで、本学の前身である旧制武蔵高等学校時代からのシンボル。「きじきじ」のネーミングは、学生が提案した「雉」と「記事」をかけたネーミングが採用されて生まれました。

### ■ Musashi Web Magazine「きじきじ」Pick up !

Web マガジンのコンテンツは、「特集」「イベント」「勉強」「ライフ」「進路」「恋愛」「グルメ」「ブログ」「その他」の9つのカテゴリに分けられています。

「グルメ」では『江古田で世界一周する食旅』として、様々な国の料理店が集まっている江古田の魅力に触れています。「ライフ」では、在学生も知りたい他学科のことや部活・サークルのこと、一人暮らしやアルバイトに関する記事が満載で、受験生もキャンパスライフがイメージしやすい内容です。中でも『部活&サークル訪問記 第3弾 A't (アット) 海外編』ではボランティア活動サークル取材して、海外で家を建てる活動を紹介しています。事前準備や渡航費用、現地の食事まで学生同士らしくざっくばらんな踏み込んだ記事となっています。



■武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学の前身は、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。  
 学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1



—本件に関するお問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当：山野・齋藤（やまの・さいとう）

TEL : 03-5984-3813 FAX : 03-5984-3727 E-mail : pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp